

平成 29 年度 第 1 回全国有床診療所連絡協議会 常任理事会・役員会

と き 平成 29 年 5 月 21 日 (日) 10:30 ~ 16:30

ところ TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX「カンファレンスルーム 7,8」

[報告 : 山口県医師会有床診療所部会長 正木 康史]

平成 29 年度の標記協議会の第 1 回常任理事会及び役員会が 5 月 21 日に TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX で開催された。

まず午前より常任理事会 (10:30 ~ 13:00) が開催され、報告事項として①平成 28 年度庶務事業報告 (玉城専務理事)、②平成 28 年度決算について (松本庶務会計担当理事)、③社会保険診療報酬検討委員会について (正木)、次いで協議事項として①平成 29 年度事業計画 (案) について (鹿子生会長)、②平成 29 年度予算 (案) について (松本庶務会計担当理事)、③要望書 (案) について (鹿子生会長) などについて協議、検討し、午後の役員会に諮ることとなった。

午後より役員会 (13:30 ~ 16:30) が開催され、最初に鹿子生会長より「今年度第 1 回目の役員会の開催になるが、今年度は第 7 次医療法改正の施行、第 7 次医療計画の策定、また、来年度の医療・介護報酬の同時改定など、重要事項が目白押しであり、適時適切に対応していきたいと考えるが、皆様からもご意見や情報提供をお願いしたい。本日は事業計画、予算、要望書等についてよろしくご検討いただきたい。」との挨拶があった。

報告事項

1. 平成 28 年度庶務事業報告 (玉城専務理事)

会議として定時総会 (H28.7.30・31 静岡大会)、常任理事会 1 回、役員会 3 回、その他、日医役員との懇談、厚労省訪問 (医政局、保険局、老健局)、自民党有床診の活性化を目指す議員連盟総会 3 回、厚労省による有床診視察など精力的な活動報告があった。

2. 平成 28 年度決算について

(松本庶務会計担当理事)

平成 27 年度は厳しい決算であったが、昨年度の会費値上げで、平成 28 年度決算ではかなり改善されてきているとの報告があった。まだ会費を納入されていない協議会もあり、詳細は 7 月の総会に諮った後に報告する。

3. 社会保険診療報酬検討委員会について (正木)

まず、昨年 12 月の役員会以降に開催された 3 回の日医診療報酬検討委員会の内容について報告した。横倉日医会長より「次回の診療報酬改定は消費税引上げが再延期され、財源的には厳しいものが予想される。また、薬価のあり方に関して、経済財政諮問会議では薬価の毎年改定が議論されているが、薬価は皆保険制度を守る視点からの設定を考えるべきである。以前は医療費に占める人件費比率は 50% だったが、最近では 46% に落ちている。つまり医療費の使われ方が人から物へ流れている。そこで基本診療料のあり方をこの委員会でしっかり議論いただき、日医としても厚労省と対峙していきたい」との挨拶があった。そこで、例年の日医会長諮問は「①前回改定の評価」と「②次回改定に対する要望」であったが、今年度の会長諮問の①は前回同様「平成 28 年度診療報酬改定の評価」であったが、諮問②は例年と違い「基本診療料のあり方」であった。

次いで、次期診療報酬改定に対する要望について報告した。今年 3 月中旬に事務局より全国協議会に意見提出をお願いしたところ、全国 25 の協議会より多くの意見 (要望) が寄せられ、正木が日医委員会の提出様式に準じて以下の 10 項目

に取りまとめた。

- ①(重点)有床診療所入院基本料・有床診療所療養病床入院基本料の引上げ
- ②(重点)有床診療所一般病床初期加算の名称変更と点数・日数の引上げ
- ③(重点)医師配置加算の点数の引上げ
- ④在宅復帰機能強化加算の要件緩和と点数の引上げ
- ⑤入院中の患者の他医療機関受診についての取扱いの見直し
- ⑥診療情報提供料の要件の見直し(入院患者も算定可に)
- ⑦看護配置加算の点数の引上げ
- ⑧看護補助配置加算の点数の引上げ
- ⑨有床診療所看取り加算の要件緩和と点数の引上げ
- ⑩外来管理加算より低い処置点数の引上げ

4. 平成 28 年度「地域包括ケアシステムにおける有床診療所のあり方に関する調査研究」(三菱 UFJ) の報告及び平成 29 年度の取り組み (木村常任理事)

①有床診療所(1,785 施設)②介護支援専門員(3,000 人)を対象にした 2 種類のアンケート調査が実施され、有床診療所調査では、在宅・介護サービスの提供状況、短期入所療養介護の取組状況や意向、短期入所療養介護の利用者の特性、有床診療所の担っている機能と今後の課題、介護支援専門員調査では、短期入所療養介護に対するニーズ等、短期入所療養介護を利用しやすくなるための必要な取組等、地域包括ケアシステムにおける有床診療所に対する期待等、そして今後の課題と提案では、有床診療所における介護事業取組先進事例の紹介・普及、地域包括ケアシステムにおける医療・介護の連携強化、地域包括ケアシステムにおける有床診療所の機能などについての説明があった。

5. 「自民党有床診療所の活性化を目指す議員連盟総会」について(葉梨最高顧問)

平成 29 年 3 月 23 日(木) 16:00 より自民党本部にて「自民党有床診療所の活性化を目指す

議員連盟総会」が開催された。厚労省からも医政局、保険局、老健局などの審議官、課長等にも出席いただき、全国協議会より①次期診療報酬改定に対する要望、②介護事業への新規参入に向けた規制緩和と介護報酬の評価、③医療介護連携を推進する診療行為の評価と要件緩和、④看護、介護人材確保への支援、⑤平成 30 年度の医療介護総合確保基金の活用、⑥新規開設規制の緩和(厚労省で省令改正の予定)、⑦有床診療所継承のための税制改正などの要望を行った。

6. 有床診療所の届出による病床設置について (鹿子生会長)

「特定の病床等の特例の事務の取扱について」の省令が一部改正され(平成 29 年 4 月 1 日より適用)、これまでは「診療所の病床については、許可でなく届出により病床設置が可能となる場合として、居宅等における医療の提供の推進のために必要な診療所等として医療計画に記載され、又は記載されることが見込まれる診療所に一般病床を設けようとする場合」となっていたが、今後は「地域包括ケアシステムの構築のために必要な診療所等として、都道府県医療審議会の意見を聞いて、都道府県知事が認める診療所に療養病床又は一般病床を設けようとする場合」となり、必ずしも医療計画に記載される必要はなくなり、また、療養病床の設置も可能となる。

協議事項

1. 平成 29 年度事業計画(案)について (鹿子生会長)

全国の有床診療所の活性化を目指す事業計画(案)が検討された。詳しくは 7 月の全国総会に諮った後、承認された事業計画を報告する。

2. 平成 29 年度予算(案)について (松本庶務会計担当理事)

松本庶務会計担当理事より予算(案)についての説明があった。役員会では承認され、7 月の全国総会に諮ることとなった。

3. 要望書（案）について（鹿子生会長）

日医会長に提出する要望（案）が検討され、7 月の総会に諮った後、その要望書を全国総会の席で日医会長に手渡すこととなった。

4. 「有床診療所の日」記念講演会について

（原 広報担当理事）

今年は全国有床診療所連絡協議会と日本医師会との共催で、「有床診療所の日」の式典を下記の日程で計画している。

日時：平成 29 年 11 月 19 日（日）
11：00～16：00

場所：日本医師会館 大講堂・小講堂

基調講演：「Dr. コトーの真実！離島の有床診療所での 39 年間（仮題）」

瀬戸上 健二郎 先生

シンポジウム：「地域包括ケアシステムにおける有床診療所の役割（仮題）」

5. 総会について

下記の日程で今年度は大分県別府市で、そして来年度は山口県医師会の引き受け（山口市湯田温泉 ホテルニュータナカ、ホテルかめ福）での開催が決まっている。来年度は多くの会員の皆様のご参加をお願いしたい。

第 30 回 平成 29 年 7 月 1 日（土）・2 日（日）
大分県別府市

第 31 回 平成 30 年 7 月 28 日（土）・29 日（日）
山口県山口市

「山口県の先端医療についての紹介」原稿募集

投稿規程

字数：1 頁 1,500 字、6,000 字 以内

- 1) タイトルをお付けください。
- 2) 他誌に未発表のものに限ります。
- 3) 同一会員の掲載は、原則、年 3 回以内とさせていただきます。
- 4) 編集方針によって誤字、脱字の訂正や句読点の挿入等を行う場合があります。また、送り仮名、数字等に手を加えさせていただくことがありますので、ある意図をもって書かれている場合は、その旨を添え書きください。
- 5) ペンネームでの投稿は不可とさせていただきます。
- 6) 送付方法は電子メール又は CD-R、USB メモリ等による郵送（プリントアウトした原稿も添えてください）をお願いします。
- 7) 原稿の採用につきましては、提出された月の翌月に開催する広報委員会で検討させていただきますが、内容によっては、掲載できない場合があります。

【原稿提出先】

山口県医師会事務局 広報・情報課

〒753-0814 山口市吉敷下東 3-1-1 山口県総合保健会館 5 階

TEL：083-922-2510 FAX：083-922-2527

E-mail：kaihou@yamaguchi.med.or.jp